



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 中外炉工業株式会社

コード番号 1964 URL <http://www.chugai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西本 雄二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長

(氏名) 南場 賢一郎

TEL 06-6221-1251

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	11,926	△27.2	△842	—	△759	—	△759	—
25年3月期第2四半期	16,376	3.7	△183	—	△206	—	△401	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 72百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △983百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△9.50	—
25年3月期第2四半期	△4.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	36,292	19,902	54.7
25年3月期	38,588	20,310	52.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 19,843百万円 25年3月期 20,256百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	6.00	6.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	△17.4	△200	—	△100	—	400	—	5.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日(平成25年11月12日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	89,230,015 株	25年3月期	89,230,015 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	9,358,611 株	25年3月期	9,353,462 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	79,873,885 株	25年3月期2Q	81,389,465 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
4. 補足情報 .....	9
(1) 受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や大胆な金融緩和により、円高が修正され、企業収益の改善が進み、景気は回復基調で推移しました。

海外では、米国は個人消費の拡大や失業率の低下など、緩やかに回復を続けていますが、欧州は下げ止まりの兆しがあるものの依然厳しい状況であり、また、中国・インドをはじめとした新興国も経済成長が鈍化しており、世界経済の先行き不透明感は払拭されないままでした。

当社グループの関連する市場におきましては、鉄鋼業界では建設・土木向けが好調に推移し、さらに自動車・産業機械等一部の製造業向けも増加に転じましたが、設備過剰感は解消されず、国内での新規設備投資には至りませんでした。

自動車業界では、生産の回復基調は鮮明となり、円安の影響もあって業績は堅調に推移し、国内外ともに前向きな設備投資の動きがありました。

ディスプレイ業界では、中国で新規設備投資がみられましたが、主力の台湾メーカーにおいては、パソコンへのタッチパネル搭載が期待されたほど進まず、予定されていた設備投資を延期するなど、その動きは総じて低調でした。

このような経営環境のもと、当社グループは、省エネ・メンテナンス事業の拡充や中国・台湾・インド等での新規顧客の獲得に注力し、受注確保と売上拡大に全社をあげて取り組みました。

その結果、海外では中国向けタッチパネル関連精密塗工装置、台湾向け冷延鋼板連続焼鈍設備の改造工事を、また、国内では鉄鋼メーカー向け熱処理設備や自動車部品熱処理設備などの成約を得て、受注高は12,526百万円（前年同期比92.7%）となりました。

売上面につきましては、台湾向け電磁鋼板連続塗装ライン、中国向けステンレス製造設備や有機ELディスプレイ関連熱処理設備を、また、国内では鉄鋼メーカー向けメッキライン用誘導加熱設備、自動車部品熱処理設備などを納入しましたが、期初の受注残高が前年に比し低く、売上高は11,926百万円（前年同期比72.8%）にとどまりました。

利益面につきましては、前期から展開しています『経営改善活動』により、損益分岐点の引下げ等に取り組みましたが、売上高減少の影響を吸収しきれず、まことに遺憾ながら、営業損失842百万円、経常損失759百万円を余儀なくされ、四半期純損失は759百万円となりました。

各分野別の概況は次のとおりです。

## (エネルギー分野)

受注面では、国内で鉄鋼メーカー向け加熱炉・熱処理炉の改造工事や省エネ型取鍋予熱装置、機械部品熱処理設備を、また、台湾向けチタン熱処理設備、欧州向け自動車部品熱処理設備などの成約を得て、受注高は9,014百万円（前年同期比88.0%）となりました。

売上面では、国内で鉄鋼メーカー向け熱処理設備や自動車部品熱処理設備を、また、中国向け電磁鋼板用乾燥・焼付設備や台湾向けアルミ板連続塗装ラインなどを納入し、売上高は9,780百万円（前年同期比78.2%）となりました。

## (情報通信分野)

受注面では、ベトナム向け液晶ガラス用熱処理設備や台湾向けロールツーロール精密塗工装置、中国向けタッチパネル関連精密塗工装置などの成約を得て、受注高は1,487百万円（前年同期比227.4%）となりました。

売上面では、中国向け有機ELディスプレイ関連熱処理設備や台湾向けタッチパネル関連精密塗工装置などを納入しましたが、前期の受注高減少の影響を受け、売上高は1,128百万円（前年同期比67.3%）と大きく減少しました。

(環境保全分野)

受注面では、マレーシア及び国内化学メーカー向け蓄熱式排ガス処理装置やバイオークス製造設備、バイオマスガス化発電設備補修工事などの成約を得て、受注高は1,306百万円(前年同期比81.0%)となりました。

売上面では、震災廃棄物処理用バイオマスガス化発電設備関連や台湾向け蓄熱式排ガス処理装置などを納入し、売上高は636百万円(前年同期比43.7%)となりました。

(その他)

受注面では、海外子会社において中国向け自動車部品熱処理設備や化学メーカー向け蓄熱式排ガス処理装置などの成約を得て、受注高は1,546百万円(前年同期比74.0%)となりました。

売上面では、中国向け機械部品熱処理設備や低NO<sub>x</sub>ガスバーナなどを納入し、売上高は1,544百万円(前年同期比90.3%)となりました。

なお、セグメント別の受注高及び売上高は、セグメント間取引相殺消去前の金額によっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前期末比2,296百万円減少の36,292百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金の減少などにより、前期末比1,888百万円減少の16,390百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の減少などにより、前期末比408百万円減少の19,902百万円となり、自己資本比率は54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、積極的な経済対策、円高修正、企業収益改善などにより、着実に景気の回復が進み、企業の設備投資も緩やかに増加し、また、来春の消費増税前の駆け込み需要も本格化していくものと思われま

す。一方で、欧州債務問題の根強い不安感や、中国・インド等の新興国の成長鈍化による海外景気の下振れが、わが国の景気を下押しするリスクとなっています。

当社グループでは、このような経営環境に対処するために、前期より取組んでおります『経営改善活動』を更に徹底して、安定的な収益基盤の確立を目指してまいります。

情報通信分野においては、価格競争力を更に高めた新しいタイプの精密塗工装置—HPコータ(ハイパフォーマンスコータ)—を下期に投入予定であり、上期の伸び悩んだ受注を挽回させる所存であります。

また、自動車関連では、来期以降も活況が持続するものと予想され、人員増強など経営資源の投入により、旺盛な需要を積極的に取り込み、受注の上積みを図ってまいります。

さらに、太陽光発電分野においては、生産効率を高めた新しいタイプのパネル製造装置を開発し、新たな受注を獲得してまいります。

当社グループは、今後、政府の成長戦略によって期待される民間設備投資の拡大を、大きなビジネスチャンスとして捉え、業界をリードする技術力、的確な提案力、そして積極的な営業力で、受注及び売上の拡大を図り、業績の早期回復に邁進する所存であります。

通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月15日公表の数値を下記のとおり修正しております。詳細につきましては、本日(平成25年11月12日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	29,000	260	380	340	4.26円
今回修正予想(B)	27,500	△200	△100	400	5.01円
増減額(B-A)	△1,500	△460	△480	60	—
増減率(%)	△5.2	—	—	17.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)	33,298	324	△368	△564	△7.00円

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,346	10,666
受取手形及び売掛金	18,120	12,484
たな卸資産	1,222	1,561
その他	423	344
貸倒引当金	△10	△7
流動資産合計	28,101	25,049
固定資産		
有形固定資産	5,397	5,238
無形固定資産	91	80
投資その他の資産		
投資有価証券	4,378	5,234
その他	658	727
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	4,998	5,924
固定資産合計	10,487	11,242
資産合計	38,588	36,292
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,567	8,864
短期借入金	3,309	3,318
引当金	341	213
その他	2,167	1,831
流動負債合計	16,385	14,228
固定負債		
長期借入金	718	897
退職給付引当金	213	204
その他	961	1,060
固定負債合計	1,892	2,162
負債合計	18,278	16,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,176	6,176
資本剰余金	3,849	3,849
利益剰余金	12,007	10,768
自己株式	△2,597	△2,598
株主資本合計	19,436	18,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,245	1,666
繰延ヘッジ損益	△415	△52
為替換算調整勘定	△9	33
その他の包括利益累計額合計	820	1,646
少数株主持分	53	58
純資産合計	20,310	19,902
負債純資産合計	38,588	36,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,376	11,926
売上原価	14,553	10,892
売上総利益	1,822	1,034
販売費及び一般管理費	2,006	1,876
営業損失(△)	△183	△842
営業外収益		
受取配当金	65	58
その他	46	46
営業外収益合計	111	104
営業外費用		
支払利息	23	20
為替差損	92	—
その他	17	1
営業外費用合計	133	22
経常損失(△)	△206	△759
特別損失		
投資有価証券評価損	36	—
会員権評価損	11	—
特別損失合計	47	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△254	△759
法人税等	141	2
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△395	△761
少数株主利益又は少数株主損失(△)	5	△2
四半期純損失(△)	△401	△759



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△395	△761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△594	420
繰延ヘッジ損益	4	363
為替換算調整勘定	1	50
持分法適用会社に対する持分相当額	1	—
その他の包括利益合計	△587	834
四半期包括利益	△983	72
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△989	67
少数株主に係る四半期包括利益	5	5

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△254	△759
減価償却費	217	198
投資有価証券評価損益(△は益)	36	—
会員権評価損	11	—
持分法による投資損益(△は益)	14	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	93	43
受取利息及び受取配当金	△70	△61
支払利息	23	20
売上債権の増減額(△は増加)	3,081	5,664
たな卸資産の増減額(△は増加)	393	△271
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,424	△1,753
その他	49	△5
小計	1,173	3,071
利息及び配当金の受取額	70	62
利息の支払額	△23	△20
法人税等の支払額	△586	△36
営業活動によるキャッシュ・フロー	633	3,076
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△120	△110
無形固定資産の取得による支出	△12	△0
投資有価証券の取得による支出	△101	△276
その他	3	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△514
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	400	400
長期借入金の返済による支出	△217	△212
配当金の支払額	△655	△479
少数株主からの払込みによる収入	3	—
自己株式の取得による支出	△482	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△950	△292
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	50
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△545	2,320
現金及び現金同等物の期首残高	9,701	8,346
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,155	10,666

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

①売上高

(単位：百万円)

部門	前第2四半期連結累計期間 平成24年4月～平成24年9月		当第2四半期連結累計期間 平成25年4月～平成25年9月		増減
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額
エネルギー	12,513	76.4	9,780	82.0	△2,733
情報・通信	1,678	10.3	1,128	9.5	△550
環境保全	1,455	8.9	636	5.3	△819
その他	1,710	10.4	1,544	13.0	△166
相殺消去	△981	△6.0	△1,164	△9.8	△183
合計	16,376	100.0	11,926	100.0	△4,450
(内、海外)	(8,011)	(48.9)	(5,989)	(50.2)	(△2,022)

②受注高

(単位：百万円)

部門	前第2四半期連結累計期間 平成24年4月～平成24年9月		当第2四半期連結累計期間 平成25年4月～平成25年9月		増減
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額
エネルギー	10,238	75.8	9,014	72.0	△1,224
情報・通信	654	4.8	1,487	11.9	833
環境保全	1,612	11.9	1,306	10.4	△306
その他	2,088	15.5	1,546	12.3	△542
相殺消去	△1,078	△8.0	△827	△6.6	251
合計	13,515	100.0	12,526	100.0	△989
(内、海外)	(5,406)	(40.0)	(4,295)	(34.3)	(△1,111)

③受注残高

(単位：百万円)

部門	前第2四半期連結累計期間 平成24年4月～平成24年9月		当第2四半期連結累計期間 平成25年4月～平成25年9月		増減
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額
エネルギー	18,167	82.5	11,637	71.0	△6,530
情報・通信	470	2.1	999	6.1	529
環境保全	1,699	7.7	1,826	11.2	127
その他	2,696	12.2	2,454	15.0	△242
相殺消去	△1,001	△4.5	△533	△3.3	468
合計	22,032	100.0	16,384	100.0	△5,648
(内、海外)	(14,556)	(66.1)	(7,055)	(43.1)	(△7,501)